
FAセキュリティモデル研究会 2022年度活動計画

委員長: 澤田 賢治 (電気通信大学)

FAセキュリティモデル研究会 活動計画(1)

○概要:FAシステムのセキュリティ強化を実施するためのFAセキュリティモデルに関する調査を実施していく。現在の「セキュリティモデル」の意味は、セキュリティシナリオ, 運用シナリオ, 検証シナリオ, シミュレータ上で稼働するモデル, などを包含する幅広いものである。今後の活動を通してより洗練していくものである。

○実施日程:1ヶ月～2ヶ月に1回の頻度で研究会を実施する。

○調査項目

1. 公開されている脆弱性情報と制御システムの運用が紐付くセキュリティシナリオの検討
 - 例:ROS2の脆弱性情報は遠隔乗っ取りを誘起するものだが, そもそもどのような運用の時にその脆弱性が利用されるかがわかりにくい。
2. 制御システムのセキュリティを検証する上でのシミュレータの調査
 - シミュレータ上で再現できる制御システム機能によって, 再現できるセキュリティ検証は変わるはず
3. シミュレータ上での簡易シナリオの実施
 - 簡単でも何か動くモノがないと, 簡単なセキュリティ検証方法すらも議論がむずかしい。
4. その他

FAセキュリティモデル研究会 活動計画(2)

○研究会実施方法

- 遠隔実施を主体に, 状況により対面実施
- 外部講師の招待
 - セイフティ系, 電気系など
- 見学会
 - CSSC(東北大), ただし, 見学のための施設利用や機材稼働に費用が別途必要.